

湘南ライフタウン及び周辺地域の公共交通等の利用環境の改善について

1. 背景

検討の中心となる湘南大庭地区は、多くのバスが運行するエリアとなっておりますが、今後、市内で最も早く高齢化の進む地域と想定されるなか、今後の通勤・通学のバス利用の減少が懸念されることから、バス交通の効率的な運用により地域の一体的な公共交通等の利用環境の改善を進める必要があるものとして、取り組みを進めたものです。

(1) 交通環境の改善にむけた課題整理

政策的課題

最寄駅まで15分で到達できない地域は、御所見・遠藤地区のほか、湘南ライフタウンの一部及び石川山田周辺にもあり、バス交通の運行改善により、駅15分圏の拡大を図ることが重要です。(図-1参照)

通勤・通学時間帯は、辻堂駅への輸送のため辻堂駅遠藤線にバス交通が過度に集中する一方、周辺地域では公共交通が確保されないことから、自家用車の利用割合が高いエリアとなっています。このため、幹線での輸送力およびサービス水準の維持を図る中量輸送システム(BRT)を導入することで、幹線から遠い周辺地域での公共交通の確保を一体的に進め、自家用車の利用を減らす環境および高齢者に配慮した施策が実現可能となります。(図-2参照)

茅ヶ崎市、寒川町との公共交通の広域連携を進めるためには、茅ヶ崎市、寒川町方面から湘南ライフタウンを経由して、湘南台駅、辻堂駅に向かう路線の整備、拡充が重要です。

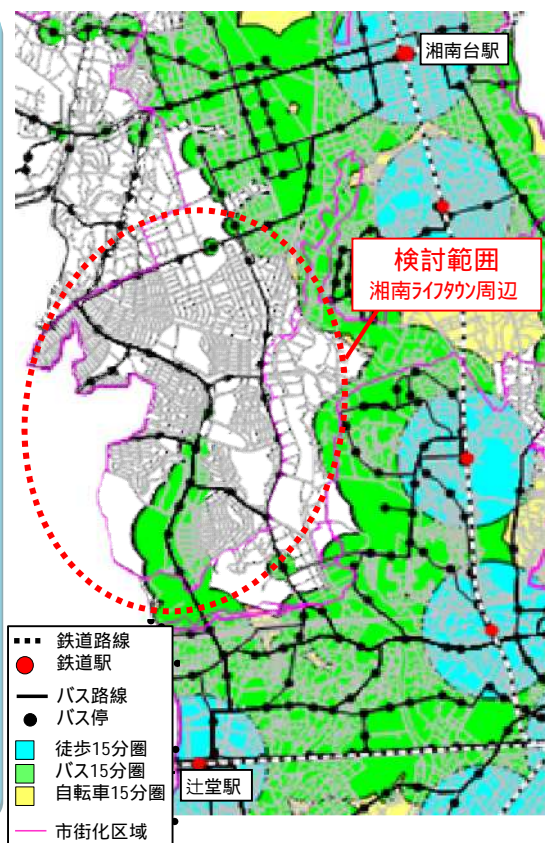


図-1 最寄駅まで15分圏エリア

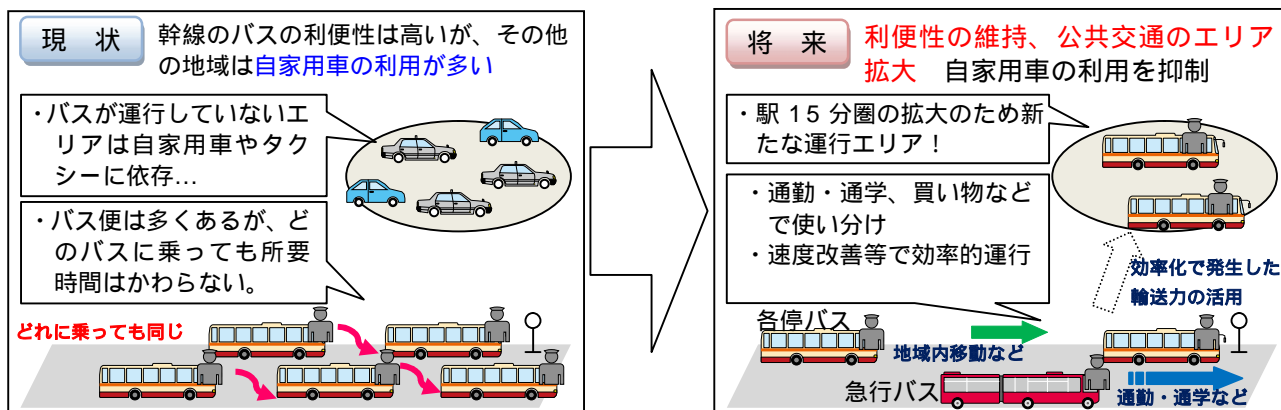


図-2 効率的な運用のイメージ図

現在の地域課題

亀井野二本松線沿線で湘南台方面に向かう路線では、定員を超える利用があり、バスに乗りきれない状態が発生し、バスを増やすなどの運行について改善が求められています。

近傍の藤沢厚木線沿線は、地形の高低差、バス路線の運行状況から、湘南ライフタウンで活動するためには、公共交通が利用しづらい状況です。需要を鑑みて、地域に適した交通システムの導入が必要と考えられます。

湘南台方面の需要が増加しており、需要への対応した路線の拡充が必要となりますが、現在、既に湘南台駅西口がバスで混雑するため、混雑解消対策を実施することが必要です。

土休日の荒天時を中心に辻堂駅周辺の混雑が発生しているため、湘南大庭地区から辻堂駅周辺へのアクセスの改善が求められています。

将来（10年以内）の地域課題

湘南大庭地区は、最も早く高齢化が進む地域と想定されており、辻堂駅遠藤線から距離のある地域に地域交通の導入を進めることが必要と考えられます。

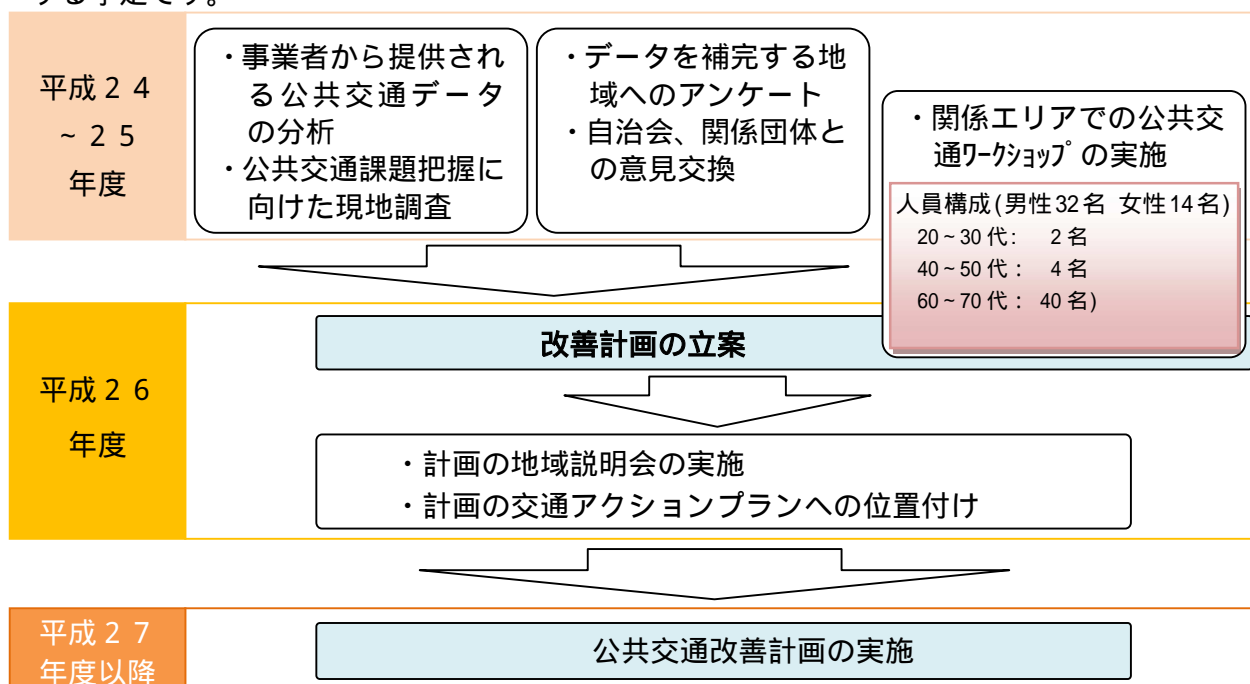
（2）交通環境の改善にむけたワークショップ

- ・平成25年度から中短期的な交通の課題解決のため、「公共交通バス（湘南ライフタウン周辺）に関するワークショップ」を4回実施しました。
- ・ワークショップ参加者は、高齢者が中心でしたが、通勤・通学等の需要把握のため、別途実施したアンケートや、乗降者のデータ等を用いて、年齢層の補完を行いながら実施しました。
- ・ワークショップ結果の取りまとめは、参加者から得られた結果をバス事業者と調整し、複数の施策の整合を図りながら整理しました。

2. 課題解決にむけた取り組み

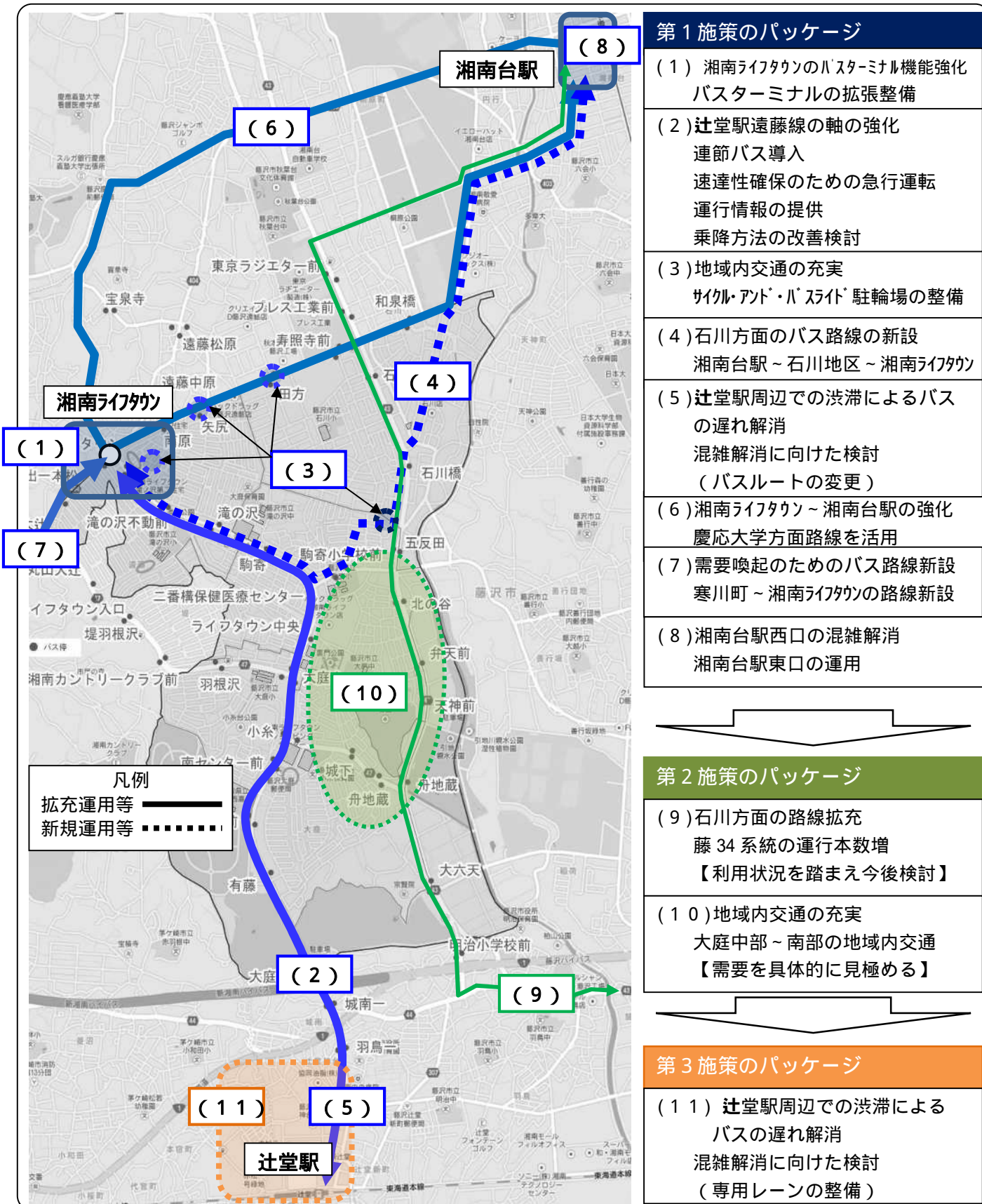
（1）事業実施までの取り組み経過

平成24年度、25年度に実施した各種検討や交通環境の改善に向けたワークショップを踏まえ、平成26年度、改善計画の立案、地域への説明会等を行い、平成27年度以降、改善を実施する予定です。



(2) 交通環境の改善に向けた計画概要

交通環境は、連節バスの運行、急行運転などの運行効率を向上させる取り組みや、新規路線の整備などバス需要を伸ばすための施策を複数組み合わせることで、改善が図られると考えております。施策の時系列展開は3段階で実施することを想定しており、第1施策は、公共交通の改善に不可欠な施策を示しており、第2、第3施策は、合意形成等の課題解決の難易度で分類したもので、課題解決時期を考慮して中期的に取り組みます。



(3) 事業実施スケジュール

藤沢市交通マスタープラン(平成 25 年度策定)や藤沢市交通アクションプラン(策定中)と整合を図りながら、第 1 施策(交通事業者との調整などを行い、次年度以降、具体的に進めていく施策)、第 2 施策(地域住民との協議や利用促進活動を行い、中短期的に実現を目指していく施策)、第 3 施策(交通事業者や沿道住民との協議、構造検討などを行い、中期的に実現を目指していく施策)に分類して実施を予定します。

表-1 事業実施スケジュール

取組み内容		短期(～H29 年度頃)	(～H32 年度頃)	中期(～H36 年度頃)
湘南ライフタウン 周辺地区の取組み	第 1 施策			
	第 2 施策			
	第 3 施策			
交通マスタープラン(長期)				
交通アクションプラン(中短期)				

3. 計画実施による改善効果（地区内人口、バス利用実績から試算）

最寄駅15分圏の拡大効果（急行運転・石川地区のバス新設）

効果：約3千人の最寄駅15分圏の拡大が期待されます

所要時間短縮効果（連節バス導入・急行運転）

効果：1日約3,400人の所要時間が平均で約2分短縮される効果が期待されます

輸送力改善効果（バスターミナル整備・連節バス導入・急行運転・石川地区のバス新設）

効果：対象となるエリアの輸送力を1.2倍程度拡大することが期待されます

バス待ち時間短縮効果（石川地区のバス）

効果：1日約1,200人のバス待ち時間が平均で約5分短縮される効果が期待されます

高齢者等の外出支援効果（地域内交通）

効果：高齢者等が外出しやすくなると考えられます

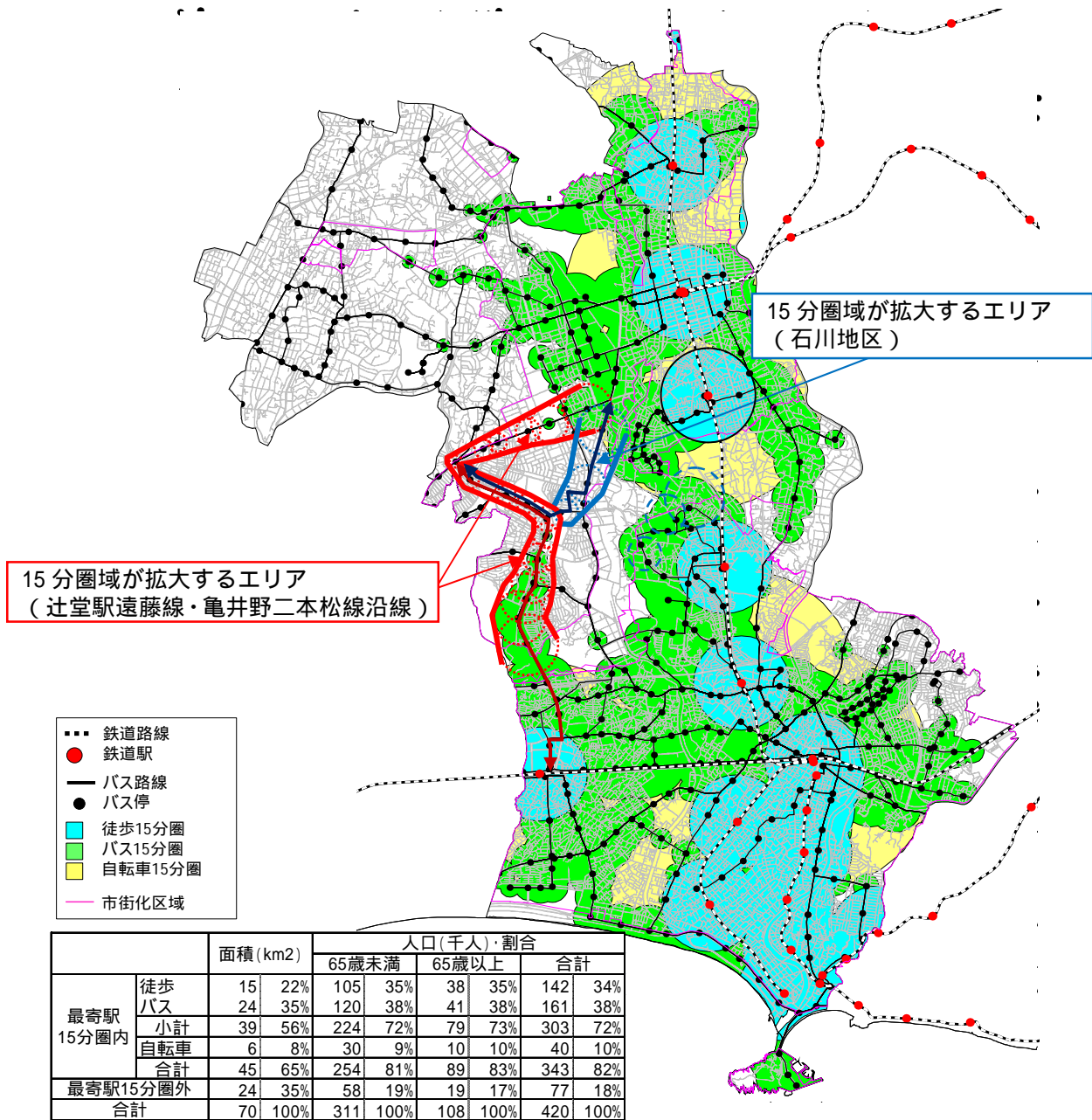


図-3 最寄駅15分圏の拡大

4. 実施を予定する事業

(1) 事業一覧

当該事業の第一施策の実施にあたって、予定する事業は、次のとおりです。

番号	項目	細目	予定年度	予定実施主体
	バスターミナル拡張整備	湘南ライフタウン	H28～29	藤沢市
	駅前広場改修 (新たな運用に伴う)	湘南台駅東口	H28～29	藤沢市
	バスの走行環境整備	辻堂駅遠藤線内停留所・新設路線	H28～29	藤沢市
	サイクル・アンド・バスライド 駐輪場整備	3箇所程度	H27～28	藤沢市
	停留所新設上屋の設置	辻堂駅遠藤線・急行停留所	H28～29	交通事業者等
	情報提供施設の整備	バス接近情報	H28～29	交通事業者等
	連節バス購入	4両程度	H29	交通事業者等

(2) 湘南ライフタウン バスターミナル拡張整備

次の施策は、湘南ライフタウン バスターミナルの拡張整備により実施可能となるもので、バス路線の再編や新規路線の導入を一体的に進めることが効果的と考えます。現状及び改修後のイメージは図-4にお示しするとおりです。

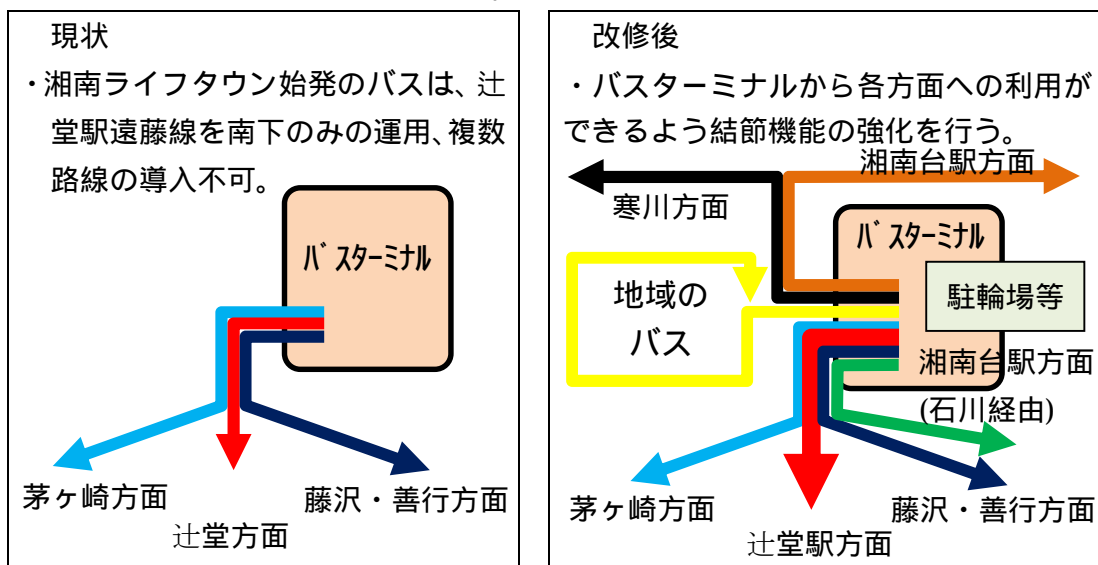


図-4 湘南ライフタウン・バスターミナルの運用イメージ

バスターミナル拡張整備の主な内容

- バス乗り場新設(湘南ライフタウン～辻堂駅方面 急行便・連節バス)
- バス乗り場新設(石川地区経由湘南台駅方面)
- バス乗り場新設(湘南ライフタウン～湘南台駅方面)
- バス乗り場新設(寒川町方面、湘南ライフタウン地域内交通)
- 亀井野二本松線入口の新設
- 辻堂駅遠藤線出口形状の改良(北側方面への出口整備)
- タクシー待機場、バス待機場の新設
- サイクル・アンド・バスライド駐輪場整備
- 乗客の待機施設、情報提供施設の新設及びトイレの改良